

キタ！からきた



だより

第158号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。

kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

「こんなところに社会福祉士がいた！」



〈大阪北支部・会員リレー紹介 045〉 レポーター（津田 愛）

今回ご紹介するのは大阪市内の地域包括支援センターのオレンジチーム（認知症初期集中支援チーム）にてお勤めされている森口 浩さんです。

森口さんは2年前に社会福祉士を取得されたそうです。今まで障がい分野・高齢者分野の相談員としても活躍され、デイサービスでは、見事黒字化へと導く対話による信頼での福祉作りの面白さ、在宅への関心が強まり、社協での地域作りへも挑戦されています。

当時関わりが深かった地域包括支援センターの方たちが持つ色々な方と繋がるご縁や地域の身近な相談室というやりがいに影響を受け、自分も地域包括支援センターで働きたいと考え、社会福祉士を目指し、現在の職場を選ばれたそうです。現在オレンジチームとして2年目、「相談援助は心の声を引き出すような仕事」にやりがいも感じられているそうです。しかし、認知症の本人が困っているというケースより、周りが困っているという事が多いため、排除するような社会ではなく、「誰の為の支援なのか？」と立ち返る事を、日々大切にされているそうです。

今後は居場所作りを展開していきたいそうで、気持ちを吐き出す場だけでなく、アクティビティ、美容、スポーツなど型にはめ込まない取り組みを展開したいと語られていました。そんな森口さんにとっての癒しは飼い猫のハナ君と触れ合う時間だとか。

私も同じオレンジチーム1年目ですが、当事者会や飲食店でのオレンジカフェなど、森口さんのお知恵もお借りしながら目指したい！と決意できた時間になりました。ありがとうございました。



『「気づきの事例検討会2023（第1回）」報告』

稲松先生をお迎えし8月5日(土)今年度第1回目の「気づきの事例検討会」が行われました。初回なので先生に「気づきの事例検討会が目指すもの」についてミニ講義をして頂き、支持的なスーパービジョン機能を取り入れたグループ事例検討会であることや対人援助者に必要な基盤はどのようなものであるかについて学びました。その後の事例検討会では常にサポートティブな討議が行われ、主催者として参加者の皆様にはそれぞれに「お土産」を持って帰っていただいたのではないかと感じております。いつも先生は「肩の力を抜いて」と言われます。討議には集中力が必要ですが飲み物やおやつも取りながらリラックスした雰囲気で行われていることが魅力だなあといつも感じます。事例提供者が気づきを得て「参加してよかった。また来たい。」と感じられる事例検討会なのでみなさんもぜひご参加ください。

(岡 由紀子)



支部公式LINE絶賛稼働中！他支部の方も大歓迎！



【お詫び】大阪北支部主催研修の開催日程変更のお知らせ（※開催時間の変更はありません）
キタから！きただより（8月号）でご周知させていただきました、「折れない心を育てるいのちの授業」ですが、令和5年11月11日（土）から**令和5年12月9日（土）に変更**となりました。

